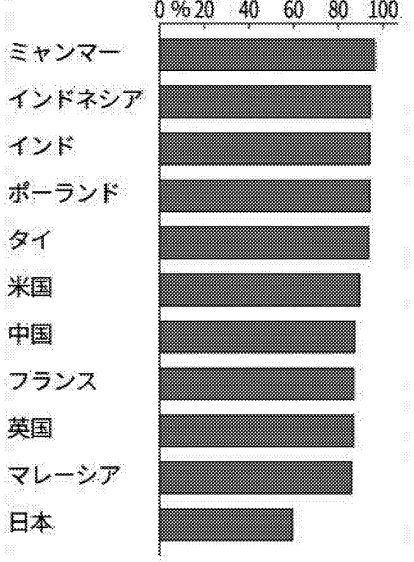


子の学力把握する親少なく

データ

日本は子どもの基礎学力を把握している保護者が少ないことが、個別指導塾のスパリックス

子の学力を把握する保護者の割合



が運営するスパリックス基礎学力研究所の調査で分かった。昨年8～9月、日米中など11カ国の6～15歳とその保護者の計2万2千人を調査した。

「基礎学力を把握している」とした保護者の割合はミャンマーの96%をトップに10カ国が8割を超えた。日本は約59%で最下位だった。

子どもが勉強するために必要な要素を聞くと、日本は「身近な目標を持つ」が最多で、「親がほめる」が続いた。ただ日本は勉強したことを褒める割合が11カ国で最低の約83%だった。学力向上には親の行動も見直しが必要になりそうだ。